

一年生の様子

担当 内藤 陽徳

「小池小はこうやるんだよ。帽子をとって元気よく挨拶をしましょう。おはようございます。」1年生にとって、1月は初めての挨拶当番がありました。上級生から教わった挨拶を早速実践していました。見ているだけで元気が湧いてきます。

1年生は2年生への進級のため、少しずつ心の準備を始めています。入学した4月と比べると、見違えるほど頼もしく成長しました。見た目のかわいらしさは残っていますが、学校生活の仕方や学習の進め方はお手の物です。今までに、どんなことができるようになって、これからはどんな成長をしていきたいか考える学習も予定しております。日々の中では、「保育園ではできなかったこま回しが、できるようになっていた。」「前より字を書くのがうまくなっていた。」「一緒に帰る友達が増えた。」など自分自身の様々な成長に気付く言葉を聞きます。より多くの側面の成長に気付かせるためにたくさんの言葉かけをし、認め合っていく風土が3学期では大事なのだと思います。

3学期もまた、書き初め、昔遊び、幼稚園・保育園児との交流など新しい学習を経験しています。初めてのことに對しても何でも目を輝かせながら挑戦していく姿勢に胸を打たれます。成長する喜び、友達と過ごす楽しさを感じていけるように、残す期間を大切にしていきたいと思います。

道徳授業

担当 行徳 美季

道徳性は、あらゆる場で子供たちが経験を通して体得した感じ方・考え方を基に養われていきます。そのため、学校の教育活動全体を通じて行われています。また、家庭や地域との連携が重要となります。

1月20日(土)には、道徳授業地区公開講座が開催されました。授業後には、世田谷区教育委員会教育支援員の橋本ひろみ先生をお招きし、講演会「児童の自尊感情や自己有用感を高めていくための家庭の在り方について」が行われました。地域・家庭・学校が一丸となり、現代の子供の心について共に考えていく時間となりました。ありがとうございました。

道徳科の学習は、答えがないとよく言われます。道徳科の学習で教材を用いて自分との関わりで感じたり、考えたりして、その理解した価値観を基に自分事として捉え、自分自身の心の中を見つめる学習です。そのため、みんなで正解を導き出したり、合意形成をすることで一つの答えを作り出したりする学習ではありません。だからこそ、自己を見つめることは大切であり、さらに自己について考えを深める時間に大きな意義があると思っております。

道徳科は3学期の通知表に子供たちの様子を記述することとなっていますが、それも他教科の評価とは違った捉え方をします。特別の教科道徳は、学習状況の把握として通知表に表記されています。すなわち、自己の生き方について考えを深めていくための学習だからです。

今後も、豊かな子供の心の育成に向け、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。